

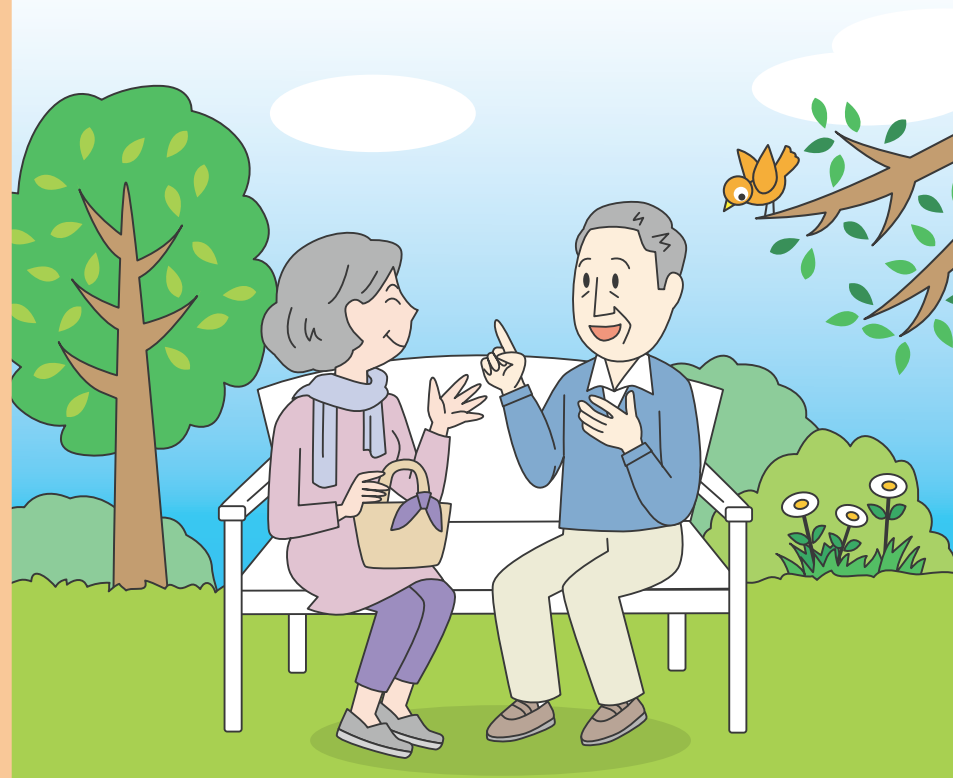


東和薬品株式会社

2025年3月作成(DC-004739_01)

リバルエンLAパッチを使用される方と
ご家族・介護者の方へ

リバルエンLAパッチの 使い方について



【監修】

香川大学医学部 精神神経医学講座 教授 中村 祐 先生

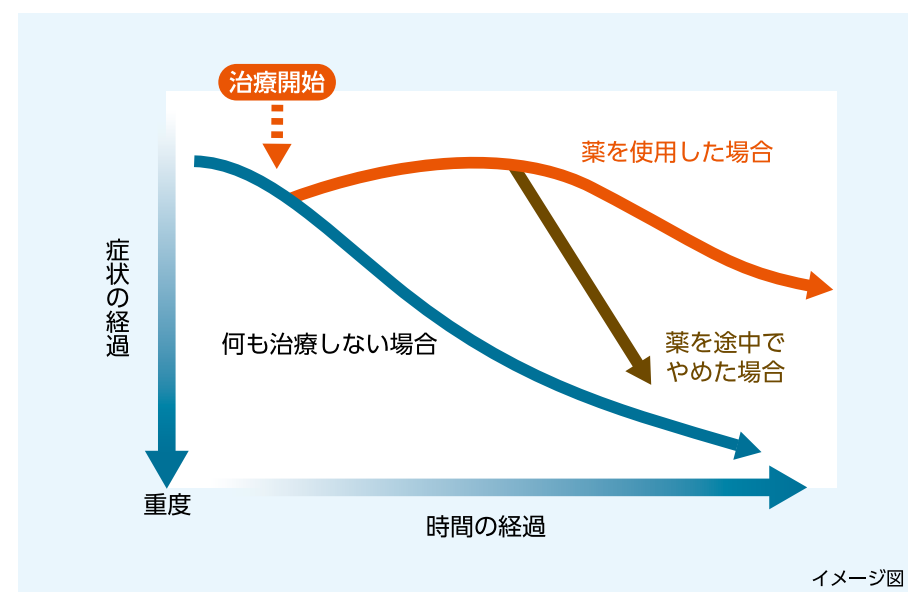
目次

アルツハイマー型認知症の薬物療法とは	2
リバルエンLAパッチについて	3
リバルエンLAパッチとは	3
リバルエンLAパッチの特徴	4
リバルエンLAパッチの種類	5
リバルエンLAパッチの使用スケジュール	6
リバルエンLAパッチの使い方	7
はじめに	7
貼る場所	8
貼る前の準備	9
貼り方	11
使用時の注意点	13
捨て方	15
保管方法	15
リバルエンLAパッチの副作用	16
皮膚症状を予防するために	17
皮膚症状を予防するためのスキンケア	18

アルツハイマー型認知症の薬物療法とは

アルツハイマー型認知症では記憶力や判断力の低下などの認知機能障害がみられます。

これらの症状を改善する薬を継続して使用することによって、何も治療しない場合より症状の進行を遅らせることが知られています。

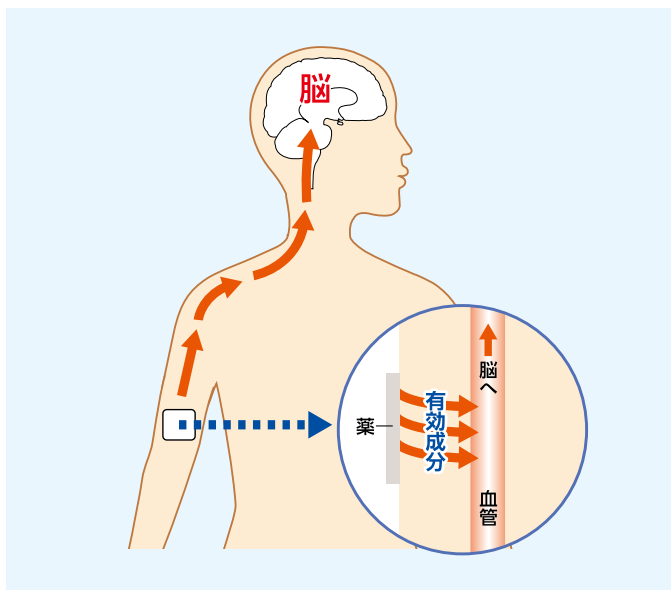


症状に変化がないようにみえても、症状を改善する薬は、実際には症状の進行を遅らせていると考えられます。

リバルエンLAパッチについて

リバルエンLAパッチとは

- この薬は軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症状の進行を遅らせる薬です。
- この薬は、皮膚から有効成分が吸収される貼り薬（パッチ剤）です。



この薬は、皮膚に貼ると長い時間、成分が少しずつ放出されるように工夫されています。

放出された薬の成分は皮膚を通して少しずつ体内に吸収されます。体内に入った有効成分は、血液の流れに乗って脳ではたります。

リバルエンLAパッチの特徴

- 1週間に2回、曜日を決めて貼りかえる薬です。
毎日貼りかえる薬ではありません。



- 包装袋に氏名、貼る日付や曜日を書き込むことができます。
- 薬（パッチ）に貼る日付や曜日を書き込むことができます。



- 介護者の方が目で見ても貼付状況を確認できます。
- 飲み薬の服用が難しい方でも使用できます。



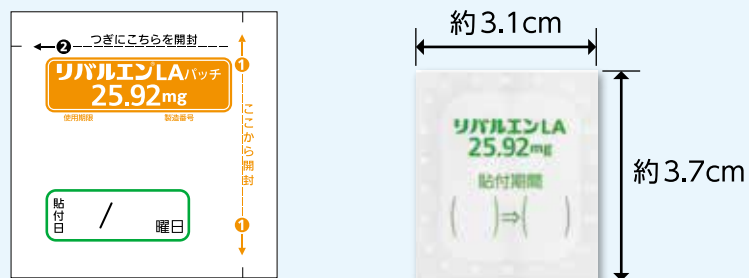
- 副作用発現時には、貼り薬をはがすことで、薬のさらなる吸収を避けることができます。



リバルエンLAパッチの種類

リバルエンLAパッチには、2種類の大きさがあります。
サイズが大きいほうは、含まれている薬の量が多くなっています。

リバルエンLAパッチ 25.92mg



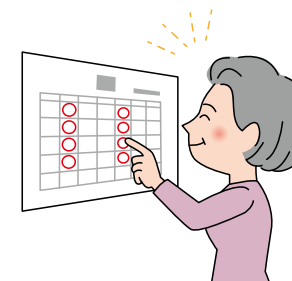
リバルエンLAパッチ 51.84mg



※上記の画像はイメージです。実際の大きさとは異なりますので、
ご注意ください。

リバルエンLAパッチの使用スケジュール

- この薬は**1回1枚貼付し、1週間に2回、決めた曜日**に貼りかえます。
- この薬は25.92mgから開始し、原則4週後に維持量（薬の効果が期待できる量）の51.84mgに増量します。
- 医師の判断で貼付する薬の量を変更場合がありますので、必ず医師の指示通りに貼ってください。



貼付スケジュール

開始量 維持量
25.92 mg 51.84 mg
 4週間

初回	2回目	3回目	4回目	5回目以降も 交互に繰り返す
月 曜日	金 曜日	月 曜日	金 曜日	
火 曜日	土 曜日	火 曜日	土 曜日	
水 曜日	日 曜日	水 曜日	日 曜日	
木 曜日	月 曜日	木 曜日	月 曜日	
金 曜日	火 曜日	金 曜日	火 曜日	
土 曜日	水 曜日	土 曜日	水 曜日	
日 曜日	木 曜日	日 曜日	木 曜日	

リバルエンLAパッチの使い方

医師または薬剤師の指示に従ってください。

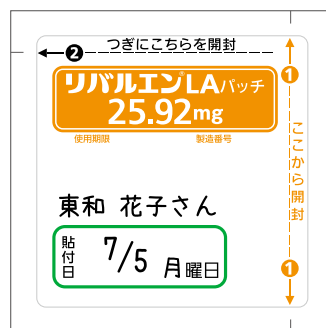
はじめに

- 貼りかえる曜日を決めます。
1週間に2回、1回1枚、同じ時間に薬を貼りかえます。
貼りかえは、お風呂やシャワーの後などにするとよいでしょう。

貼りかえる曜日
毎週 () 曜日と () 曜日

包装袋の活用

包装袋には、貼る日(貼付日)や貼る曜日を記入することができます。
また、あいているスペースには名前を記入することもできます。



1週間に2回 貼りかえる薬です。

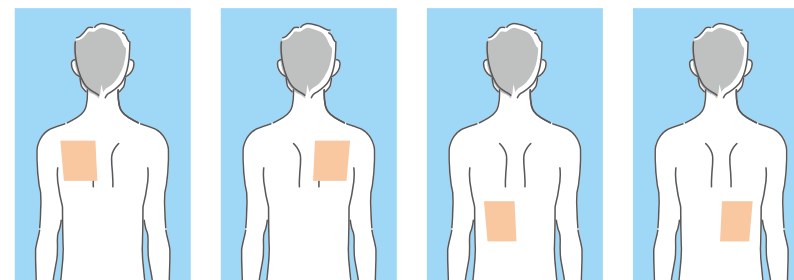
貼り忘れや貼りかえる日を
まちがえないように日付や
曜日を記入しましょう。
施設などに入所されている
方は、取り違い防止のため、
名前を記入しましょう。

貼る場所

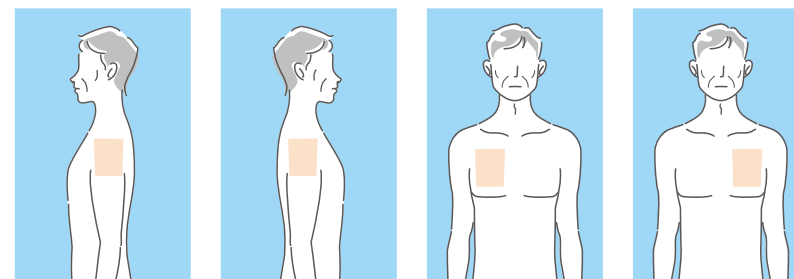
背中、上腕、胸のいずれかの正常な皮膚に貼ります。

貼る場所は毎回変え、同じ場所に続けて貼らないでください。

背中



上腕と胸



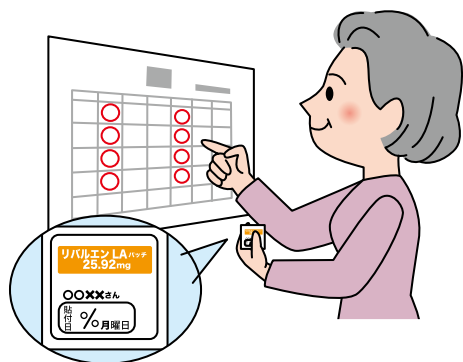
貼る場所の注意

- 清潔で乾燥した場所、体毛が少ない場所、密着した衣服を着用してもこすれにくい場所に貼ってください。
- 傷や湿疹、皮膚炎などがある場所には貼らないでください。
- クリーム、ローション、パウダー、軟膏などをぬったばかりの場所ははがれやすくなります。乾いた場所に貼りましょう。

貼る前の準備

- 新しい薬を用意します。

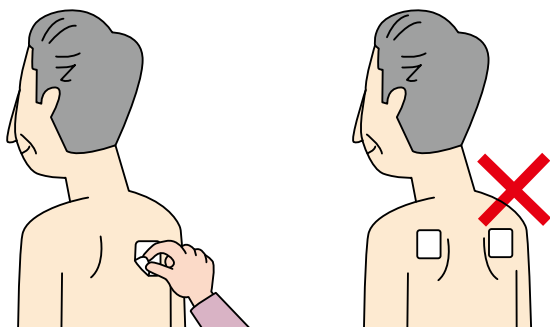
貼付日を記入している場合は、今日の日付・曜日が記入された薬を用意してください。



- 前の薬をはがします。

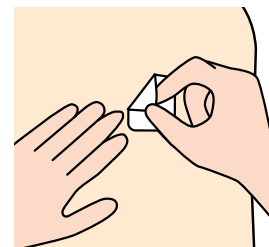
新しい薬を貼る前に、必ず前の薬をはがしてください。

一度に2枚以上貼らないでください。

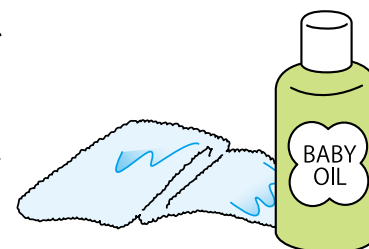


貼りかえるときの注意

- 前の薬は、皮膚を傷つけないよう、ゆっくりとやさしくはがしてください（一気ににはがさないようにしてください）。



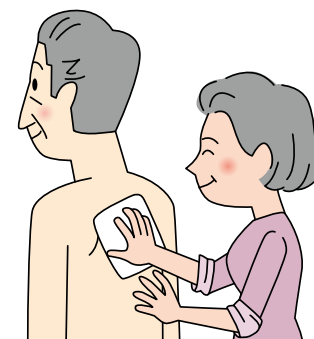
- 薬をはがした後、皮膚に粘着成分が残った場合、少量のベビーオイルやぬらしたタオルなどでやさしく取り除いてください。



- 使い終わったパッチは、接着面を内側にして半分に折りたたみ、捨ててください。



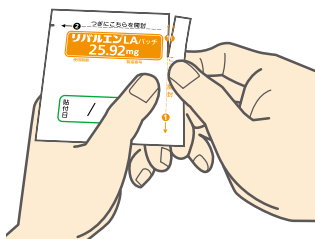
- 貼る場所を乾いたタオルなどでふいて、清潔にします。水分や汗をよく取り除いてください。



貼り方

1 包装袋から薬を取り出す

内部のパッチを傷つけないように、包装袋の2ヵ所を番号順(①→②)に手で切り取り、中のパッチを取り出してください。手で切り取ることが難しい場合は、ハサミを使用して点線に沿って切って開封してください。



2 曜日または日付を記入する

パッチ表面に、以下のようにペン(※)で記入して、(貼った日)⇒(貼りかえる日)が分かるようにしてください。
※水性ペンはにじむことがあるため、油性ペンでご記入ください。

曜日で管理する場合

〈月曜・木曜に貼りかえる場合〉

リバルエンLA
25.92mg

貼付期間

(月)⇒(木)

日付で管理する場合

リバルエンLA
25.92mg

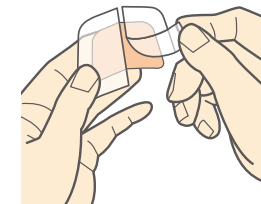
貼付期間

(7/5)⇒(7/8)

3 透明フィルムを半分はがす

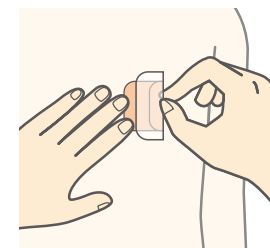
パッチには透明フィルムがついています。粘着面に触れないように、透明フィルムの半分をはがしてください。

※一度山折りすると、透明フィルムがはがれやすくなります。



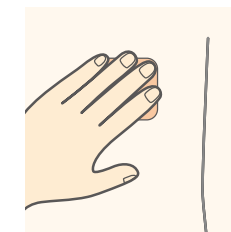
4 薬を貼る

粘着面を背中、上腕、胸のいずれかに押しあて、半分だけパッチを貼ってください。貼った部分を押さえて、残りの透明フィルムをはがしながら貼ってください。



5 薬を押さえる

パッチがしっかりとくっつくまで、手のひらで押さえてください。



6 手を洗う

パッチを貼り終わったら、石鹸で手を洗ってください。

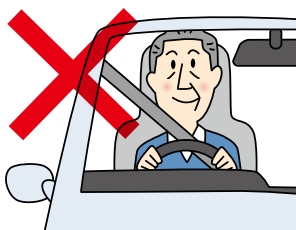
手に薬がついていることもあるため、手を洗う前に目や口に触れないようにしてください。



使用時の注意点

貼っている間の注意

- 車の運転や危険を伴う機械の操作はしないでください。



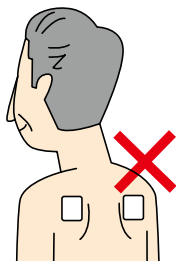
貼り忘れたときの注意

- 貼り忘れに気づいたときは、気づいた時点で新しい薬を貼ってください。
次からは、いつもと同じスケジュールで貼りかえてください。

〈月曜日と木曜日に貼りかえるスケジュールの場合〉

火曜日に貼り忘れに気づいたときは、前の薬をはがしたあと、新しい薬を貼り、木曜日に貼りかえてください。

- 貼り忘れに気づいても2枚以上を一度に貼ってはいけません。

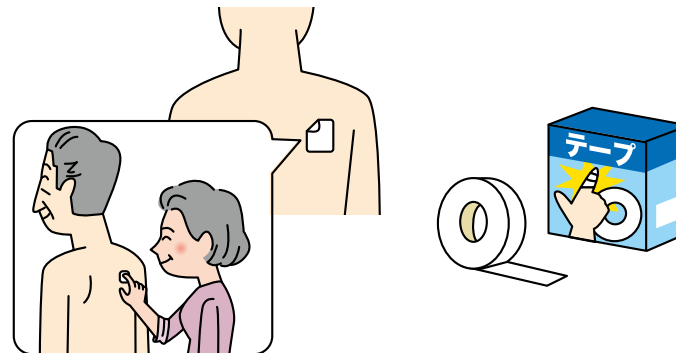


- 4日間以上貼っていない期間がある場合は、次に使うパッチの大きさが変わることがありますので、医師にご相談ください。



はがれそうなき、はがれたときの注意

- はがれそうなきは、再度手で押さえて貼ってください。
押さえてもはがれそうなきは、市販の医療用テープで固定してください。



- 完全にはがれたときは、新しい薬に貼りかえてください。その後はあらかじめ決めた曜日に新しい薬に貼りかえてください。
- はがれた薬は、接着面を内側にして折りたたみ、子どもの手の届かないところや目につかないところに捨ててください。



捨て方

使用済みの薬にはまだ成分が残っているため、接着面を内側にして折りたたみ、子どもの手の届かないところや目につかないところに捨ててください。



保管方法

- 子どもの手の届かないところや目につかないところで、高温を避けて保管してください。



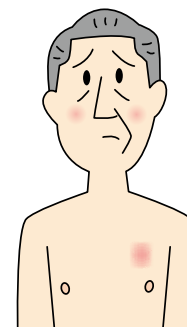
- 薬は折り曲げないでください。
- この薬は1枚ごとに包装されています。包装袋は、貼る直前まで開けないでください。
- 薬を家族や他の人にゆずってはいけません。

リバルエン LA パッチの副作用

主な副作用として、皮膚症状や消化器症状が報告されています。

皮膚症状

薬を貼った場所が赤くなる、かゆくなるなど



消化器症状

嘔吐、吐き気、下痢など

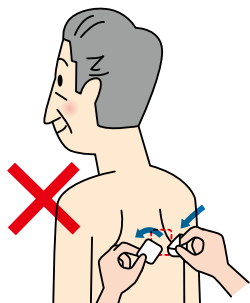


気になる症状があらわれた場合は、医師または薬剤師に相談してください。

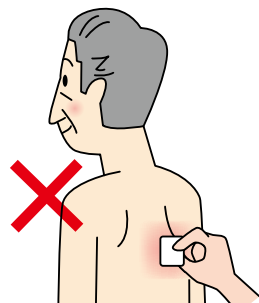
皮膚症状を予防するために

リバルエンLAパッチによる皮膚症状(赤み、かゆみなど)を軽減、予防するため、次の点に注意してください。

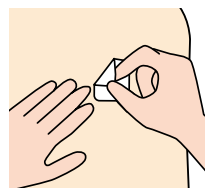
- 薬は前回と異なる場所に貼ります。



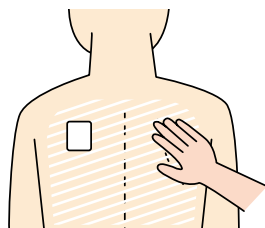
- 傷や湿疹、皮膚炎などがない場所に貼ります。



- 薬をはがすときは、ゆっくりとやさしくはがします。



- 新しい薬に貼りかえた後は、皮膚を保湿します。
(保湿剤は貼った場所を避けてぬります)



皮膚症状を予防するためのスキンケア

皮膚が乾燥していると、赤みやかゆみなどの皮膚症状があらわれやすくなりますので、保湿剤などで保湿を行うことが重要です。

- 日常的に皮膚のケアをおこないましょう。

皮膚症状を軽減し、予防するためには、保湿剤(クリーム、ローション、軟膏など)で皮膚の乾燥を防ぐことが大切です。

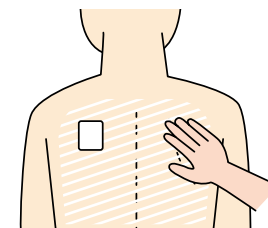
皮膚が乾燥しやすい方、皮脂の分泌が少ないご高齢の方は、皮膚症状があらわれやすくなる場合がありますので、特に注意が必要です。

詳しくは、医師または薬剤師にご相談ください。



保湿剤のぬり方

- 新しい薬を貼った後、貼った場所を避けて保湿剤をぬります。
薬がうまく貼れなくなりますので、貼る直前に貼る場所やその周囲にはぬらないでください。



- 1日に1～数回(朝、昼、夕方、お風呂上がり、寝る前など)適量をのばすようにぬってください。
皮膚の乾燥によってかゆみがあらわれます。お風呂上がりやシャワーの後に水滴をふき取り、すり込むようにぬるのがよいでしょう。

